

計測のチカラで未来に革新を！！

最新の
計測技術

二次電池の
評価試験

研究・製造向け
シミュレータ

レーシング
プロジェクト

AI生成



人とくるまのテクノロジー展 2024 NAGOYA

Automotive Engineering Exposition 2024 NAGOYA

事前登録制 <https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/nagoya/>

期間 2024年7月17日(水)～19日(金) 10:00～17:00

会場 Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) E・Fホール **小間No.26**

「未来に繋がる技術や情報」
4つのカテゴリー でご提案いたします。



パワー半導体、車載インバータの高効率、低損失化に最適な計測ソリューションを

最新のパワエレ用プローブを展示。パワー半導体や車載インバータ等の高効率・低損失化を課題とする技術者に最適な計測ソリューションの提案を目指します。産業用音響カメラ（エアリーク・部分放電の可視化）も展示。



EV・車載インバータ、電動化に伴う評価試験のご提案

EVモーターや電動化パーツ関連の製品開発にご利用いただけるソリューションや、EMC関連機器、大容量直流電源のご提供が可能です。また受託試験に関するソリューションございますので、是非ご相談ください。



パワーエレクトロニクス技術をトータルサポート。最大1GHzのGaN/SiCにも対応！

「高分解能12ビット、8チャンネルオシロスコープ WaveRunner8208HD」と「1GHzの光アイソレーションプローブDL10-ISO」を展示し、半導体デバイスやインバータ/モータ駆動回路の研究・開発・評価をご提案。



2倍のスペース効率で高精度に電力測定

【モジュール方式】の新型電力計。最大12ch/台の多点電力測定を実現、高電圧化が進むDC側は～2000Vまで対応。高精度な電力測定と併せて多ch温度測定まで1台の本体で同時に実現。



大型バッテリーバック加速劣化+性能評価に特化した装置

みずなみ試験所に大型バッテリーバック加速劣化+性能評価に特化した装置を導入しました。現代の自動車は先端技術の集合体です。信頼性試験・分析受託サービスでこれらの部品の信頼性を高めるお手伝いをします。



セル電圧/温度監視のロガーや恒温槽を統合した制御が可能！ 充放電システム

バッテリーモジュールや、電池パックの充放電試験において、各セルを監視することが可能なデータロガーや恒温槽と連携することで、様々な恒温環境の中、雰囲気温度による充放電ステップの制御や、個別のセル電圧による放電（充電）停止などを組込むことができ、高度な充放電試験を可能とします。



電子部品の断面観察・解析業務 熟練の技術力で高難度研磨にも対応

機械研磨による電子部品の断面観察・解析業務に特化。手作業でキズ・ダレを抑えた美しい断面試料を提供。熟練者の技術力を生かしたBGA取外し加工など自動機では真似できない高難度研磨も対応します。



電池技術者による電池試験や技術支援により開発をサポート！

電池の充放電/安全性試験の評価受託に加え、材料/構造設計・試作・解析のフルサービスにより開発課題を解決します。電池分野に限らず、様々な試験にもお応えします。



高性能試験を担い、開発スピード、品質向上に貢献

「電池」のイノベーションを支え、性能試験を手掛けています。様々な条件下で容量や入出力時の特性、最新の試験設備、保存劣化試験用保存槽、各種測定器を揃え、正確に測定・評価し、試験結果をお客様に提供しています。



セル～バックまでの「寿命劣化試験」を中心としてサポート

主に「寿命劣化」に注力した蓄電池受託試験事業を展開。セル用大電流対応装置を保有し、バック用試験システムなど今後拡大予定。首都圏・東海・関西などアクセス良好な神奈川県相模原市にて実施しています。



余剰エネルギーをシェアしてカーボンニュートラルに貢献

商用電源までエネルギーを回生する前に装置間、チャンネル間での余剰エネルギーをシェアし活用する省エネルギーな電力変換方式を採用しカーボンニュートラルに貢献できる新しい充放電試験装置のご提案。

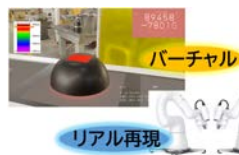


シミュレータでヒューマンファクターの研究を行うための理想的なツール

SCANer™studioは研究開発用のドライビングシミュレータです。開発段階での評価可能でNCAP試験にも対応。当社開発6自由度のモーションコックピットで高リアリティシミュレーションをご体験ください。



日本ノーベル株式会社



外観検査自動化の負担軽減 VR空間でシミュレーションし、リアル再現へ

外観検査自動化の大きな負担となる『撮影条件の検証』を『①VR空間でシミュレーション』するシステムを展示します。また、その結果を光学機器搭載ロボットで撮像させて『②シミュレーション結果をリアル再現』しています。このデモシステムは、『③QualityEyesの簡単接続機能』でソフトや光学機器やロボットを繋げています。



電波環境のシミュレーションシステムでテスト環境の再現、開発時間の削減

ローデ・シュワルツ・ジャパンとマックスシステムズで共同開発した電波環境のシミュレーションシステムを展示します。様々なOTA環境を再現することが可能なシステムであり①走行シーンの再現、②テスト環境の再現、③開発時間の削減、に繋がります。